

報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 2 月東北分
 (東北 6 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 30 年 2 月東北分（東北 6 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断 DI は「43.7」と4ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.8 ポイントとわずかに下回った。

現状判断DIの推移

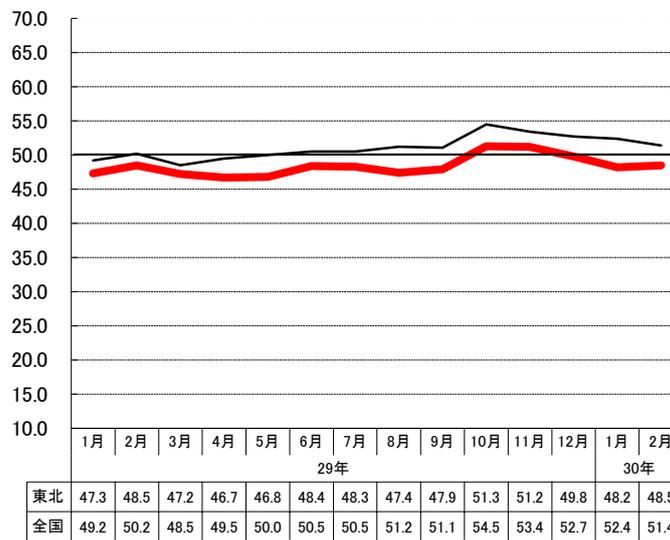


— 東北 — 全国

(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

先行き判断 DI は「48.5」と4ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.3 ポイントとわずかに上回った。

先行き判断DIの推移



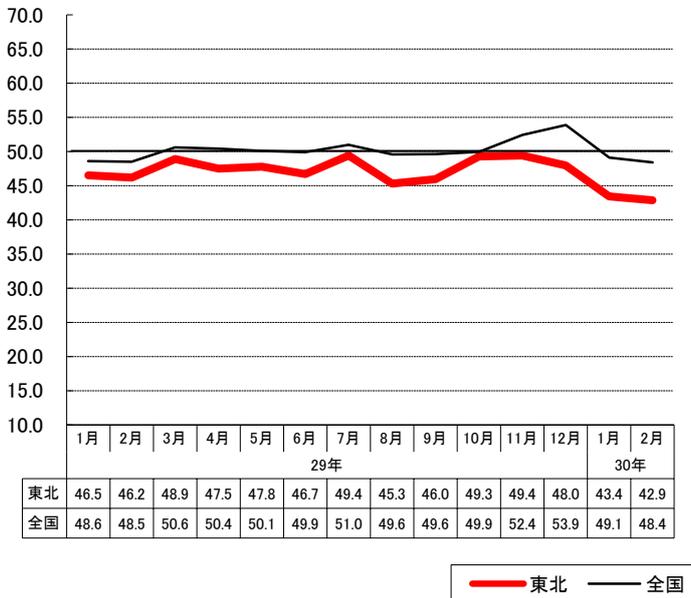
— 東北 — 全国

2. 原数値

(1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「42.9」と3ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.5ポイントとわずかに下回った。

現状判断DIの推移



・家計動向…高級レストラン、商店街、住関連専門店等の業種でDIが前月を上回ったが、その他専門店、百貨店、一般小売店等の業種でDIが前月を下回った。DIは「40.9」(▲1.1)と2ヶ月連続で前月を下回った。

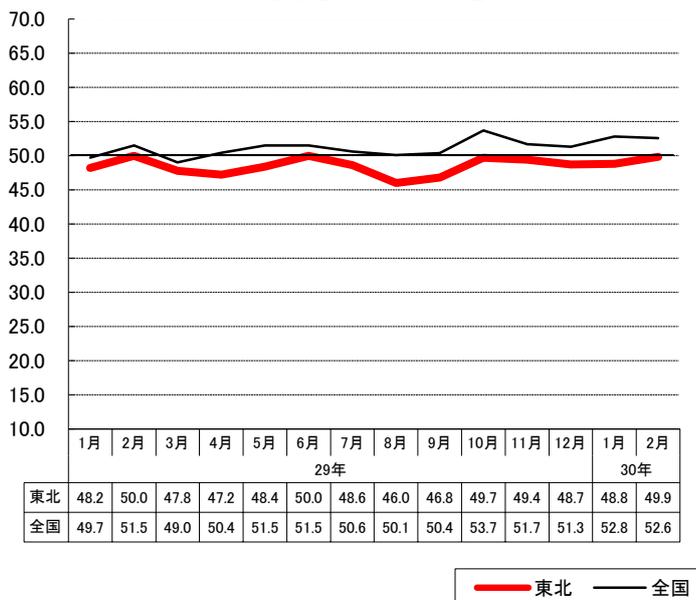
・企業動向…金属製品製造業、広告代理店、その他サービス業等の業種でDIが前月を下回ったが、建設業、その他非製造業、農林水産業従事者、家具及び木材木製品製造業等の業種でDIが前月を上回った。DIは「45.1」(+3.4)と4ヶ月ぶりに前月を上回った。

・雇用動向…DIは「50.0」(▲5.0)と2ヶ月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「49.9」と2ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.1ポイントとやや上回った。

先行き判断DIの推移



・家計動向…住関連専門店、乗用車販売店、都市型ホテル等の業種でDIが前月を下回ったが、観光型ホテル、一般レストラン、百貨店等の業種でDIが前月を上回った。DIは「50.9」(+2.0)と2ヶ月連続で前月を上回った。

・企業動向…出版・印刷・同関連産業、金融業、広告代理店等の業種でDIが前月を下回ったが、それ以外の業種では前月からDIが横ばいもしくは上回った。DIは「45.8」(+0.7)と2ヶ月ぶりに前月を上回った。

・雇用動向…DIは「51.3」(▲3.7)と、3ヶ月連続で前月を下回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	29年												30年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北現状	46.5	46.2	48.9	47.5	47.8	46.7	49.4	45.3	46.0	49.3	49.4	48.0	43.4	42.9
家計動向関連	45.6	44.7	49.2	47.4	47.0	45.5	49.1	44.4	46.8	48.5	48.5	46.4	42.0	40.9
企業動向関連	46.6	46.5	45.7	43.6	50.7	44.6	48.6	44.7	45.3	50.0	50.0	48.0	41.7	45.1
雇用関連(参考)	51.3	53.8	52.5	55.3	47.5	57.5	52.5	51.3	42.5	52.5	53.8	57.9	55.0	50.0

（2）先行き判断D I

	29年												30年	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
東北先行き	48.2	50.0	47.8	47.2	48.4	50.0	48.6	46.0	46.8	49.7	49.4	48.7	48.8	49.9
家計動向関連	47.1	49.3	48.1	47.1	50.0	50.0	48.1	45.9	45.7	48.9	48.2	47.2	48.9	50.9
企業動向関連	50.0	49.3	45.7	44.3	44.6	48.0	47.3	45.4	49.3	50.0	48.7	50.0	45.1	45.8
雇用関連(参考)	51.3	55.0	50.0	52.6	46.3	53.8	53.8	47.5	48.8	53.8	57.5	55.3	55.0	51.3

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 30 年 2 月 25 日～28 日

回答者数 172/189 名、回答率 91.0%(全国 1,844/2,050 名、90.0%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：萱場 喜樹）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

- （乗用車販売店）…3か月前は自動車メーカーの不正検査問題によるリコールのため販売量が伸びなかったが、今月は少し良くなっている。
- （住関連専門店）…今月は大型の高額商材が売れており、売上を押し上げている。
- （ショッピングセンター）…春物を中心とした新しいニーズに応える品ぞろえにしたことから客単価が上昇しており、来客数も増加している。また、春節を契機としたインバウンド客の需要も増えている。
- （自動車整備業）…来客数、売上、販売量共に好調である。原油関連の価格高騰により値上げをしたが、販売量は減少することなく増加傾向にある。
- （住宅販売会社）…関東在住の相続権者による地元の空き家の処分依頼があり、解体工事、土地仲介、新築工事の受注と、1件で複数の受注が発生している。
- （建設業）…3か月前と比較して、特段の受注量増加はなく、同程度の景気となっている。
- （金融業）…1次製品の小売価格の高止まりが、個人消費の心理的足かせになっているものの、住宅投資、公共投資は高水準の推移が続いている。また、雇用の動きも過去最高水準を更新しているなど、プラス要素が多い。

○「変わらない」

- （旅行代理店）…個人旅行の申込みや取扱いに大きな増加傾向はみられていない。また、大雪の影響もあり販売量はほぼ横ばいで推移している。
- （通信会社）…2月に入り今までにない豪雪となっている。例年より冬の様相が長引いているため、客の購買意欲が鈍り、契約者数も伸び悩んでいる。
- （観光名所）…売上が前年を上回り大変好調ではあるが、インバウンド客による底上げであり、日本人客が若干減っていることが気に掛かる。
- （食料品製造業）…2月は、観光客や出張客が若干少なかったため、販売量が伸びていない。
- （電気機械器具製造業）…身の回りの景気としては、大きな変化はないものの、良い状況が続いている。多くの取引先も製品開発が順調である。
- （経営コンサルタント）…豪雪により、各地で経済活動が停滞している。
- （人材派遣会社）…求職者数に減少はみられないものの、条件を高望みする傾向が強まっており、マッチングせず契約に結び付かないケースが多い。
- （新聞社〔求人広告〕）…首都圏への人材流出が進んでおり、人手不足が深刻化している。そのため、人手確保のための企業PRの広告需要が高まっている。

○「やや悪くなっている」

- （商店街）…大雪や寒波の影響で商店街への来街者数が減少している。また、野菜などの食料品の価格が高止まりしており、消費も停滞気味である。
- （百貨店）…時計、宝飾品、ブランド品など的高額商材の動きが鈍い状況が続いている。また、冬物の動きが好調であった衣料品においても、紳士服の動きが弱まっている。春物は立ち上がり始めているが、気温が低い状態が続いているため、定価品の出足が遅い印象を受ける。さらに、物産展も引き続き売上が厳しい状態である。
- （スーパー）…1月に続き2月も週末にかけて雪の日が多く、来客数が減少している。特に日曜日の午前中は雪かきなどにより来客数の減少幅が大きい。日曜日はポイント倍セールを実施している関係上、日曜日の来客数減少は全体の売上にも大きく影響を及ぼしている。

(コンビニ) …大雪により夕夜間の来客数が激減している。売上が落ちているなか、除雪費や光熱費が重くのし掛かり、利益的にはかなり厳しい状況である。

(衣料品専門店) …春物への購入意欲が高まり、新生活に向けた学生などの来客数が増える時期であるが、今年は大雪や例年よりも長引く寒さの影響により、客の動きが1～2週間ずれ込んでいる。非常に大きいマーケットのため、これを今から取り返すことは難しい。

(靴専門店) …降雪のため長靴などの動きは活発であるが、春物の動きが鈍い。

(一般レストラン) …前月に引き続き悪天候が客足を止めている。天気予報の精度が高まっているため、大雪の予報がされると出張の予定もかき消されてしまう。また、家庭での雪かきでエネルギーを使ってしまうため、地元の人すら夜に繁華街に出て来られない状況である。

(観光型旅館) …悪天候の日が多く、客の動きが鈍っている。

(都市型ホテル) …1～2月は悪天候により来客数の動きに鈍さがみられている。予定が決まっている宴会などは堅調であり、宿泊も若干上回っているものの、レストランは来客数の減少が著しい状況である。

(美容室) …寒さで来客数が非常に少ない状態である。

(木材木製品製造業) …年明け以降、需要の鈍化や業界間の競争激化から受注量は落ちてきている。加えて、前年来の為替円安を主要因とする原材料コストの上昇が収益を圧迫しており、厳しい状況が続いている。

(広告代理店) …地銀の店頭チラシやハウスメーカーのテレビCMが減少している。Webマーケティングの安価化が要因の1つではないかとみている。

(職業安定所) …臨時求人が多かったことから、有効求人数が増加している。ただし、例年同様に在職中の契約社員により新規求職者数は増加したものの、有効求職者は減少している。そのため、有効求人倍率は上がっているが、求職者が求める求人は少なく、採用件数は大幅に減少している。

○「悪くなっている」

(医薬品販売店) …2月中旬の大雪により来客数が減少したが、その後も平昌オリンピックの閉会式まで、深夜のにぎわいがなくなっている。また、周辺では2月末で閉店する店舗も出ている。

(高級レストラン) …景気が低迷しているのか、余り良い話はない。首都圏は景気が良いと聞いているが、地元にはその実感がない。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(百貨店) …これまで順調に推移している衣料品が、この先の春夏商戦においても前年より良い傾向で動くことにより、他の春の行事対応商品も堅調に推移するとみている。また、高額商材は上昇傾向に入ってから1年が経過することもあり、多少動きは鈍るものの微増の状態が継続するとみている。

(衣料品専門店) …今出遅れている客も、この先は一斉に動き出すと期待している。

(一般レストラン) …3月からは、異動に伴う歓送迎会が見込める。また、季節も春めいてくるため、人の出足が増えることを期待している。

(観光型旅館) …天候が良くなれば旅行需要も上昇してくるとみている。

(旅行代理店) …春休みやゴールデンウィークの国内旅行の申込みや、夏の海外旅行の予約が始まっており、前年と比較しても上昇傾向にある。

(建設業) …年度をまたいで発注されている大型公共工事が複数あるため、受注状況によっては、景気が上向くこともあり得るとみている。

(新聞社〔求人広告〕) …寒波の影響により来客数が減少したとの声が多いが、その反動でこの先は状況が良くなるとみている。

○「変わらない」

- (スーパー) …客の節約志向は相変わらずであり、特売品のみの買い回りも多い。この傾向は特に年配者に多くみられており、今後も続くともっている。
- (食料品製造業) …新商品の投入で売上回復を狙っているが即効性に乏しく、当面は厳しい状況が続くとみている。
- (出版・印刷・同関連産業) …広告が紙媒体からWeb媒体へシフトしていることや、マイナス金利のためコスト圧縮の一環で金融機関の印刷物が減少していることが響いている。
- (窯業・土石製品製造業) …東北全体において、需要が好転するような要因が見当たらない。
- (金融業) …企業の投資マインドは回復基調にあるともっているが、それが顕在化するのは雪解け以降ともっている。また、個人消費については、消費環境の好転が考えにくいいため、現状維持で推移するとみている。
- (飲食料品卸売業) …輸送費の増大により3月から商品価格の値上げを実施するが、購買意欲にどの程度の影響が現れるのか懸念をしている。
- (職業安定所) …新規求職者数の前年同月比は、ほぼ横ばいで推移している。求人は宿泊業などにおいて減少傾向にあるが、他はおおむね未充足のまま求人が更新されている。製造業において人員整理の情報があるが、在職者の再就職先もほとんど確保されており、失業者の発生は限定的になるとみている。

○「やや悪くなる」

- (医薬品販売店) …東日本大震災から7年間、一定して底堅く推移していた来客数が、最近では底が抜けたように悪化している。ネット通販の拡大など経営環境の変化に乗り遅れている可能性もあるが、来訪する取引先からも厳しい状況ばかり聞いている。ネット通販が地場の需要の大きな部分を吸い上げる事態となれば、地方の経済は衰退してしまうのではないかと。
- (コンビニ) …現状も良くないが、2～3か月先には学生が就職などで地元を離れるため、景気は更に悪くなるとみている。
- (乗用車販売店) …少子高齢化による人口減少や働き手の減少による、市場縮小が顕著である。
- (食品専門店) …仕入価格の高騰により、販売価格も上げざるを得ない。そのため、高級食材の客離れが顕著になるのではないかと危惧している。
- (木材木製品製造業) …春先以降の受注量はやや持ち直すとみているが、前年に比べると減少傾向が続くのではないかと。また、採算割れの状況が継続しているが、価格へのコスト転嫁はかなり難しく、収益的に悪い状況が続く見通しである。
- (人材派遣会社) …有期雇用者の無期転換問題について対応策をとっていない企業が多く、中小企業では混乱や雇止めなどが小規模ながら発生しており、悪影響を与えている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上